

「公共工事コスト構造改善プログラム」

【 施策名： 施策7技術基準類の見直し 1-①設計基準類の見直し】

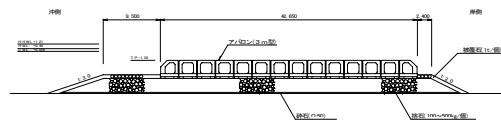
人工リーフの暫定断面施工によるコスト改善

工事名：海岸保全施設整備事業（小松人工リーフ工事）

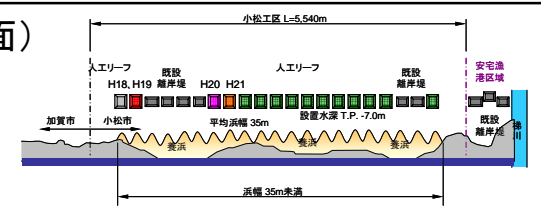
概要：石川海岸小松工区では、沖合施設が未整備なため、毎年災害が発生していることから、沖合施設の早期発現効果（被災軽減効果）を踏まえ、暫定断面（完成形の半断面化）により、整備延伸を早期に図るものである。【段階的な整備手法によるコスト改善】

- 効果：**
- ① 沖合無施設区間を早期に整備することにより、被災軽減効果を図る。
 - ② 人工リーフ1基完成分の費用で、2基分（完成形の半断面化）の整備が可能（沖合施設未整備箇所の早期解消）→ 砂浜安定化が図れれば、暫定断面で事業完了【段階施工】
- 人工リーフ（1基分）工事費を、**900百万円**から**550百万円**に改善。
（改善額 350百万円、改善率 約39%）

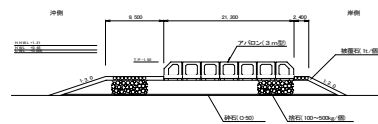
断面図（完成）



進捗度（完成断面）



断面図（暫定）



進捗度（暫定断面）

